

平成19年度入学者選抜  
大阪市立大学大学院創造都市研究科  
修士課程（冬季募集）特別選抜

## 筆 答 試 験 問 題

### 注 意 事 項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開いてはいけません。
- 2 受験票を机の上(通路側)に出しておいてください。
- 3 問題冊子は、この表紙を含め全部で3枚です。  
脱落があった場合は、申し出てください。
- 4 都市ビジネス専攻の受験者は、都市ビジネス専攻筆答試験問題を選択してください。  
都市情報学専攻の受験者は、都市情報学専攻筆答試験問題を選択してください。  
異なる専攻の問題を選択することはできません。
- 5 答案用紙の科目欄に問題番号を、専攻・分野欄に志望専攻・志望分野名を、学籍番号欄に左づめで受験番号を、氏名欄に氏名を記入してください。
- 6 解答は、すべて答案用紙の所定欄に記入してください。  
解答以外のことを記入したときは、無効とすることがあります。
- 7 用便の場合を除き、試験開始後 30 分を経過するまでは退室することはできません。退室した場合、再入室は認めません。
- 8 監督者が「解答やめ」の指示をしたときは、直ちに答案の作成を終了してください。
- 9 問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。

平成 19 年 2 月実施

都市ビジネス専攻筆答試験問題（小論文）

以下の設問の中から一問を選び、論述せよ。

1. 中国は近年、「世界の工場」と言われ注目されてきたが、最近では「世界の市場」としても注目されている。「世界の市場」とはどのような意味なのか。また、それは中国と世界にどのような影響を及ぼすのか。
2. コーポレートガバナンス(企業統治)の改革が各社で進んでいる。なぜなのか。また改革の要点について述べよ。
3. IT(情報技術)の急速な発展が、社会や企業に及ぼす影響について論ぜよ。
4. ベンチャ・ビジネスが経済発展のなかで果たす役割について論ぜよ。

以上

平成 19 年 2 月実施

## 都市情報学専攻筆答試験問題(小論文)

以下の設問の中から一問を選び、論述せよ。

1. インターネット上での通信方式としてクライアント・サーバ方式とP2P方式がある。これらを簡単に説明し、両通信方式の長所・短所を比較せよ。
2. インターネットに接続されたすべてのノードの数(グローバル IP アドレスが割り当てられたものに限定して良い)を推定したい。全アドレスに ICMP ECHO(PING)を送信し、応答の有無によってノード数を推定する方法(方法 A)も考えられるが、この方法は時間がかかり、ネットワーク的なコストも高い。別の方法を考えよ。考えた方法の詳細、方法 A と比較した場合の利点と欠点を述べよ。また方法 A と比較してどのくらいの手間で終わるだろうか。
3. ある問題进行处理するために、能力 1 のコンピュータを 1,000 台ネットワークに接続したものを用いる方法と、能力 1,000 のコンピュータを 1 台用いる方法を考える。プログラミングのしやすさ、処理時間、費用、対故障性、運用管理などの点でこれらの方法の違いを論ぜよ。

以上